

美唄市

人口 20,001人(2022.1)
主な観光ポイント
宮島沼、アルテピアッツァ美唄

ベースボールを核とした地域活性化



美唄ブラックダイヤモンドズ



清掃ボランティア活動

美唄からNPBへ！若者の夢を応援！！

北海道初の野球独立リーグの立ち上げ当初から、美唄市に本拠地を置く球団「美唄ブラックダイヤモンドズ」。

野球や地域活動等を通じ、労働力不足の解消や交流人口の増加、関係人口の創出、コミュニティの形成、シビックプライドの醸成など地域に大きな活力をもたらしています。

本プロジェクトで集まった寄附は、球場等の環境整備、スポーツを通じたこどもの育成・地域の振興、交流人口・関係人口拡大事業など、地域活性化に向けた取組に広く活用します。

■プロジェクト
美唄ブラックダイヤモンドズ
応援プロジェクト

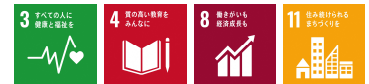
球場等の環境整備／スポーツを通じたこどもの育成／交流人口・関係人口拡大 など

事業年度・事業費

令和4年度



市内の子どもたちと交流



〈美唄市美唄デザイン課デザイン係〉
☎0126-62-3137
mail: kikaku@city.bibai.lg.jp

深川市

人口 19,658人(2022.1)
主な観光ポイント
道の駅ライスランドふかがわ

「スポーツ」がもたらす効果でコロナ禍
や人口減少に負けないまちづくり

ホクレン・ディスタンスチャレンジ深川大会



エフパシオのトレーニング室

スポーツを核とした地域活性化を目指して

深川市では、冷涼な気候と市内のスポーツ施設を活用し、陸上競技を中心とするスポーツ合宿招致を重要施策として取り組んでいます。

しかし、新型コロナウイルス感染症の影響により、数多くの合宿やスポーツイベントのキャンセルが相次ぎ、飲食・旅館業などでも深刻な影響を受けています。

このようなコロナの影響のほか、人口減少に負けない強いまちづくりを目指して、スポーツに関連する4つの柱を軸に、各種施策に取り組めます。

■プロジェクト
「北のスポーツ都市ふかがわ」によるスポーツを核とした
地域活性化プロジェクト

事業年度・事業費

令和4～6年度
15,000千円

▼スポーツを通じた4つの柱

★自ら行うスポーツ
市民参加型の「運動きっかけ教室」などの開催

★呼び込むスポーツ
イベントの開催や合宿招致促進

★携わるスポーツ
指導者養成講習会などの人材育成

★育てるスポーツ
スポーツを通じた次世代人材育成



〈深川市企画総務部企画財政課企画係〉
☎0164-26-2246
mail: kikaku@city.fukagawa.lg.jp

北広島市

人 口 57,767人(2022.1)
主な観光ポイント
エルフィンロード、旧島松駅通所

ボールパーク構想と連携した
新たな価値の創造

スタジアムパース



スタジアム

北で広がる夢がある

北広島市では、2018年10月に北海道日本ハムファイターズのボールパーク建設地として決定され、2023年3月の開業に向けた整備が進められています。

本市にとって、このボールパークと連携したまちづくりを行うことは、究極の地方創生と捉えており、ボールパーク構想と最大限連動させた人口減少対策、交流人口拡大対策に取り組むことで、地域の活力の創出を目指しています。

■プロジェクト

ボールパーク構想と連携した
まちづくり

人口減少対策・交流人口拡大対策

事業年度・事業費

令和元～5年度
139,698千円



〈北広島市企画財政部企画課〉

☎011-372-3311

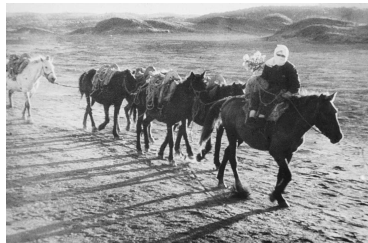
mail: kikaku@city.kitahiroshima.lg.jp

浦河町

人 口 11,720人(2022.1)
主な観光ポイント
JRA日高育成牧場

浦河町出身 田中光敏監督による
映画製作の実現

浦河町出身 田中光敏監督



1950年代の砂漠化したえりも岬

先人が残した日本人のあるべき姿を未来へ

浦河町では、様似町、えりも町及び広尾町と連携して浦河町出身の田中光敏監督によるえりも岬の緑化事業を題材とした映画化の実現に向けて取り組んでいます。

これは、1950年代に森林伐採で砂漠化した荒れ地に地元漁師らが木を植え続け、豊かな森と海をよみがえらせた史実です。

日本の先人が残した自分たちの魂、日本人のあるべき姿を未来へ伝え残すため、映画製作の実現に向けて皆様のご協力をお願いします。

■プロジェクト

「北の流水(仮題)」映画製作
応援プロジェクト

事業年度・事業費

令和2～5年度
350,000千円



蘇った森と海



〈浦河町商工観光課〉

☎0146-26-9014

mail: kanko@townurakawa.hokkaido.jp

名寄市

人口 26,663人(2022.1)
主な観光ポイント
ピヤシリスキー場、天文台

冬季スポーツ拠点化プロジェクト



クロスカントリースキー合宿



ガーリングジュニアキャンプ

冬季スポーツ拠点化とジュニア世代の育成強化

名寄市では、スポーツを通じて子どもたちの「生きる」を育む環境づくりを進めるとともに、スポーツによる市民の健康づくりや交流人口拡大・地域経済活性化を図り、スポーツによる幅広い地域振興を推進しています。

本プロジェクトは産官学連携組織のNスポーツコミッションを中心として、世界的にも価値が高まっている天然雪などの自然環境や集約された冬季スポーツの施設環境の強みを生かして、合宿・大会誘致や子どもたちの体力・競技力向上を推進するとともに、冬季スポーツを通じて故郷への誇りと愛着を持てる人づくりに取り組んでいます。

■プロジェクト 冬季スポーツ拠点化プロジェクト

全道・全国規模の大会開催／ジュニア世代を対象としたトレーニング・教育プログラムの提供 など

事業年度・事業費

令和2年度～



名寄市ピヤシリシャンツェ



〈名寄市スポーツ・合宿推進課〉

☎01654-2-2218

mail: ny-sport@city.nayoro.lg.jp

東川町

人口 8,390人(2022.1)
主な観光ポイント
旭岳温泉、天人峡温泉

アイヌ文化とアイヌの誇りを国内外に



東川町収蔵作品より



東川町収蔵作品より

アイヌに誇りを与えた少女「知里幸恵」

差別の中にも夢と希望を持ち続けた知里幸恵氏の姿は多くの人に感動を与え、2022年没後100年を迎えることから、金田一京助氏とアイヌの口承文化を後世に伝えることに青春をかけた一人のアイヌ少女知里幸恵氏の短い一生を描いた映画を通じて、アイヌ文化を広く国内外へ紹介していきます。

アイヌ文化とアイヌの誇りを広く国内外へPRするとともに、文字を持たないアイヌ文化の伝承と暮らしを映画化し、次代を担う子どもたちなどに知ってもらい、人々の動きを復活させ、地域活力向上に資するように取り組んでいます。

■プロジェクト アイヌ民族の文化と生活を題材とした映画「カムイのうた」製作事業

事業年度・事業費

令和2～6年度

250,000千円



東川賞受賞作品シリーズより



〈東川町東川スタイル課〉

☎0166-82-2111

mail: brand@town.higashikawa.lg.jp

東川町

人口 8,390人(2022.1)

主な観光ポイント
旭岳温泉、天人峡温泉世界中の写真と出逢い、世界中の人々がふれあい、
世界中が笑顔に溢れる写真文化首都

写真甲子園



国際写真フェスティバル

写真文化首都の創造を目指して

1985年に「写真の町」を宣言し、写真文化を通じて潤いと活力のある町づくりに取り組み、写真文化と世界中の人々を繋ぐ「写真文化首都」の創造を目指しています。

現在、日本は過疎・過密の二極化が進行している中、写真文化の首都として地方から世界へ写真文化を発信するために「写真甲子園」をはじめとした写真の町に関わる事業や写真文化のアーカイブスなどの取組を行い、写真文化首都を推進します。

■プロジェクト
写真文化首都「写真の町」
プロジェクト写真甲子園の開催／写真文化
アーカイブス事業 など

事業年度・事業費

令和2～6年度



写真の町宣言



〈東川町東川スタイル課〉

☎0166-82-2111

mail: brand@town.higashikawa.lg.jp

上富良野町

人口 10,342人(2022.1)

主な観光ポイント
土の博物館「土の館」

活火山の恵みと脅威を活力に

～「十勝岳」魅力再発見プロジェクト～

北海道を代表する秀峰であり、数多くの恵みと時に大きな災いをもたらす町のシンボル、十勝岳。上富良野町では、国内外から多くの観光客を呼び込む不動のコンテンツとして十勝連峰の魅力を最大限に活かしてまいります。

代表的な取組として、活火山である十勝岳がかつて上富良野に惨劇をもたらした噴火泥流災害にまつわる実話を基に、昭和文壇を代表する作家・三浦綾子が著した小説『泥流地帯』の実写映画化を目指しています。

大規模自然災害が頻発する昨今、96年前に「全滅」と言われながらも奇跡と称される復興を果たした上富良野開拓民の物語を、企業の皆様とともに全国のスクリーンにお届けできるよう、ご支援をお待ちしています。

※詳しくは当プロジェクトPRページをご覧ください。

<http://www.town.kamifurano.hokkaido.jp/index.php?id=2137>
■プロジェクト
三浦綾子『泥流地帯』映画化
プロジェクト二度にわたる噴火災害の実話を
元にした映画の製作・全国のス
クリーンへ届けるための支援

事業年度・事業費

平成29年度～

80,000千円



三浦綾子『泥流地帯』映画化プロジェクト



〈上富良野町企画商工観光課〉

☎0167-45-6983

mail: shouko@town.kamifurano.lg.jp

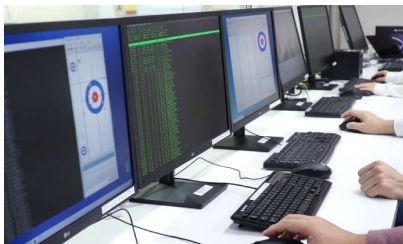
北見市

人口 114,326人(2022.1)
主な観光ポイント
ハッカ記念館、ピアソン記念館

トップアスリートのニーズに対応する 先導的なカーリングホールの活用



アルゴグラフィックス北見カーリングホール



最先端の競技力向上支援システム

合宿関連産業への経済波及効果を期待

北見市では、地域資源であるカーリングを活用した地方創生を推進しています。令和2年10月には、北見工業大学の最先端スポーツ科学研究を実用化した高度な競技力向上支援機能を有する先導的な施設「アルゴグラフィックス北見カーリングホール」がオープンしました。

当施設を活用し、合宿誘致や体験型観光、オリンピックで銅メダルを獲得した女子チーム「ロコ・ソラーレ」の後進となる人材の育成、国内外大会の開催、小中学校の授業での活用など、カーリングの持続的発展と地域の活性化に向けて様々な取組を進めています。

■プロジェクト

地域資源カーリングを活かした 交流人口拡大プロジェクト

合宿誘致／国内外大会の開催／
人材育成 など

事業年度・事業費

令和2年度～



カーリングのまち北見市

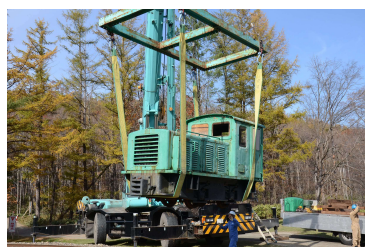


〈北見市企画財政部企画政策課〉
☎0157-25-1103
mail: kikaku@city.kitami.lg.jp

遠軽町

人口 18,956人(2022.1)
主な観光ポイント
瞰望岩、太陽の丘えんがる公園

10トンディーゼル機関車に再び汽笛を



10トンディーゼル機関車搬入



森林鉄道蒸気機関車雨宮21号

全国に類を見ない「森林鉄道の聖地」に向けて

国内で唯一動態保存されている森林鉄道蒸気機関車「雨宮21号」は「木のまち」遠軽町の象徴として、住民運動によりスクラップを免れた貴重な産業遺産です。

町ではこの「雨宮21号」を中心に全国に類を見ない「森林鉄道の聖地」を目指しており、このたび新たに、昭和31年製造の10トンディーゼル機関車を復元するロマンあふれるプロジェクトを実施しています。

■「10トンディーゼル機関車」 製造年：昭和31年／製造会社：協三工業（福島県福島市）

昭和31～昭和35年 北海道濁川森林鉄道（滝上町）
昭和36～昭和40年 長野県王滝森林鉄道（長野県上松町）
昭和51～平成30年 愛知県瀬戸市自然休養林
〈動態保存〉
平成30年10月～ 遠軽町丸瀬布森林公園いこいの森線

■プロジェクト

ロマンあふれる「森林鉄道の聖地」10トンディーゼル機関車動態復元等整備プロジェクト

10トンディーゼル機関車の復元

事業年度・事業費

未定

2,100千円



雨宮21号が走行するいこいの森キャンプ場



〈遠軽町総務部企画課〉
☎0158-42-4818
mail: kikaku@engaru.jp

釧路市

人口 163,110人(2022.1)
主な観光ポイント
釧路湿原、和商市場、阿寒湖

プロスポーツチームへの支援により スポーツ振興を



ひがし北海道クレインズの試合



小学校でのあいさつ運動の様子

スポーツの力で交流人口拡大を目指す

釧路市に拠点を置いて活動するプロスポーツチーム「ひがし北海道クレインズ」に対し、地域の活性化に寄与することを目的として、運営を支援いたします。

支援を受ける「ひがし北海道クレインズ」によるホームゲームの開催等により、交流人口の拡大や地域の魅力発信などが期待され、市内はもとより市外からも新たなファンを掘り起こし、スポーツ振興・地域活性化を推進します。

また、コロナ禍において当該プロスポーツチームが活動し続けることにより、市民に元気と勇気を与え、子どもたちの憧れや夢の醸成にもつながることが期待されます。

■プロジェクト

プロスポーツ支援事業

市内に拠点を置くプロスポーツ
チームへの支援

事業年度・事業費

令和4年度～

※事業費は未定



ひがし北海道クレインズ 全日本選手権2連覇



〈釧路市スポーツ課〉

☎0154-31-2600

mail: su-sport@city.kushiro.lg.jp

釧路町

人口 19,152人(2022.1)
主な観光ポイント
細岡展望台、キトウシ野営場

トップアスリートとの持続可能な交流 を実現



J SOMPO BALL GAME FESTA in 釧路町



本川紗奈生選手

スポーツの力で子供の心に残る体験を創出

釧路町では「スポーツによるまちづくり＝スポーツによる人づくり」をテーマに、アスリートによるスポーツ教室を通じて子ども達に夢と希望を与える取り組みに力を入れています。

しかし、体育館の経年劣化とあわせ、コロナ禍によりスポーツへの関心の低下や運動する機会が減少しています。

このことから、釧路町総合体育館の床面改修を行い、釧路町出身である本川紗奈生選手による「バスケットボールクリニック」を開催することで、スポーツを通じた仲間づくりや絆を深める活動を推進していきます。

■プロジェクト

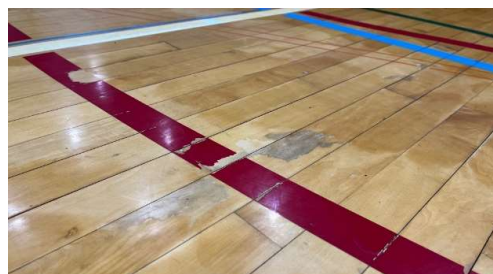
スポーツの力で元気なまちづくりを推進プロジェクト

体育館の床面改修／人材育成
など

事業年度・事業費

令和3年度～

19,254千円



釧路町総合体育館の経年劣化した床



〈釧路町ふるさと納税推進室〉

☎0154-62-2310

mail: furusato@town.kushiro.lg.jp

白糠町

人口 7,391人(2022.1)
主な観光ポイント
道の駅「しらぬか窓間」、岬の森東山公園

「ウレシパ・シラリカ」ロケツーリズム推進プロジェクト



白糠アイヌ協会天内会長とプロジェクトロゴ



「カムイノミ」の様子

アイヌ民族をテーマにした映画制作

先住者であるアイヌの人々によって白糠町の礎が築かれた歴史的な経過・背景を踏まえ、まち全体がイオル（伝統的生活空間）であるという認識のもと、ウレシパの意識でまちづくりを進めてきました。

国内外においてアイヌ文化の復興・創造に向けた機運が高まっている中、本町を拠点にアイヌ民族をテーマにした映画制作が決定したことから、全町を挙げて支援・協力を行うとともに、作品や撮影終了後のセットなどを新たな観光資源として広く発信し、持続的な交流人口・関係人口の創出・拡大と地域の活性化を図ります。

■プロジェクト 「ウレシパ・シラリカ」ロケツーリズム推進プロジェクト

アイヌ民族をテーマにした映画制作に対する支援・協力及び新たな観光資源としての活用

事業年度・事業費

令和2～5年度

500,000千円



〈白糠町企画総務部企画財政課〉

☎01547-2-2171

mail: kikakuchosei

@town.shiranuka.lg.jp